

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-508652(P2000-508652A)

【公表日】平成12年7月11日(2000.7.11)

【出願番号】特願平9-536754

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 69/017

B 0 1 J 31/24

C 0 7 C 67/38

C 1 0 M 105/34

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 C 69/017 B

B 0 1 J 31/24

C 0 7 C 67/38

C 1 0 M 105/34

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月25日(2004.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 2月25日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第536754号

2. 発明の名称 エチレン性不飽和化合物のカルボニル化方法

3. 補正をする者

事件との関係

特許出願人

名 称

シエル・インターナショナル・リサーチ・マーチャツ
ピー・ベー・ウイ

4. 代 理 人

郵便番号

106-0042

住 所

東京都港区麻布狸穴町62番地の5 川原田ビル2階

電話番号

03-3560-1580~1

ファクソミリ

03-3560-1582

氏 名

(6435) 弁理士 川原田 一穂



5. 補正命令の日付 自 発

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 請求の範囲を別紙の通り補正する。

方 式 査
審 査

請求の範囲

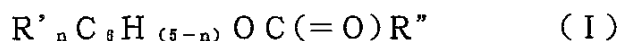
1. (a) V I I I 族金属カチオン源と、(b) 配位子として作用するホスフィン、アルシン又はスチビン化合物と、(c) ハロゲン化物アニオンから構成されるアニオン源以外のアニオン源を組み合わせることにより得られる触媒系の存在下に一酸化炭素及び共反応体と反応させることによりエチレン性不飽和化合物をカルボニル化する方法であって、理論量以下の量のハロゲン化物アニオンの存在下及び/又は芳香族アルコール以外の共反応体の場合にはフェノールプロモーターの存在下に実施する前記方法。
2. 塩化物又はヨウ化物アニオンの存在下に実施する請求項1に記載の方法。
3. V I I I 族金属カチオンに対して3 : 1未満、好ましくは1 : 1未満のモル比のハロゲン化物アニオンの存在下に実施する請求項1又は2に記載の方法。
4. 反応体総重量を基にして40重量%まで、好ましくは10~20重量%のフェノールプロモーターの存在下に実施する請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。
5. V I I I 族金属がパラジウムである請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。
6. ホスフィン、アルシン又はスチビン化合物が3価N、P、As又はSb原子から選択されるカチオンと配位する第2の原子を含む二座配位子である請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。
7. 二座配位子が式 $R^1 R^2 M^1 - R - M^2 R^3 R^4$ (式中、 M^1 及び M^2 は独立してP、As又はSbであり、Rは橋中に1~5個の原子を含む2価置換又は非置換架橋基を表し、 R^1 と R^2 は一緒になって置換又は非置換2価基を表し、従って、2個の遊離原子価が M^1 に結合しており、 R^3 と R^4 は一緒になって置換又は非置換2価基を表し、従って、2個の遊離原子価が M^2 に結合しているか、又は R^3 及び R^4 は独立して置換又は非置換ヒドロカルビル基を表す) の化合物である請求項6に記載の方法。
8. R^1 と R^2 が一緒になって表される2価(置換)基が1, 4-シクロヘキレン、1, 4-シクロヘプチレン、1, 3-シクロヘプチレン、1, 2-シクロ

オクチレン、1, 3-シクロオクチレン、1, 4-シクロオクチレン、1, 5-シクロオクチレン、2-メチル-1, 5-シクロオクチレン、2, 6-ジメチル-1, 4-シクロオクチレン及び2, 6-ジメチル-1, 5-シクロオクチレン基から選択される2価環状基である請求項7に記載の方法。

9. 触媒系の成分(b)が1, 2-P, P'-ビス(9-ホスファビシクロノニル)エタン、1, 2-P, P'-ビス(ジメチル-9-ホスファビシクロノニル)エタン、1, 3-P, P'-ビス(9-ホスファビシクロノニル)プロパン及び1, 3-P, P'-ビス(ジメチル-9-ホスファビシクロノニル)プロパンの[3, 3, 1]及び[4, 2, 1]異性体から選択される請求項6に記載の方法。

10. 共反応体がフェノール分子に結合した炭素原子数30までのアルキル基1個以上をもつアルキルフェノールである請求項1から9のいずれか一項に記載の方法。

11. 一般式



(式中、R'は炭素原子数10~30のアルキル基であり、nは1~5の整数であり、R''は炭素原子数1~30のアルキル基であり、但しアルキルフェノールエステルは4-テトラデシルフェノール、アセテートもしくはヘキサン酸、4-テトラデシルフェニルエステルもしくはヘキサン酸、3-テトラデシルフェニルエステル又は3-テトラデシルフェノール、アセテートもしくは酢酸-4-ドデシルフェニルエステル以外のものである)のアルキルフェノールエステル。

12. R'が炭素原子数12~20のアルキル基である請求項11に記載のアルキルフェノールエステル。

13. R'が炭素原子数少なくとも14のアルキル基である請求項11又は12に記載のアルキルフェノールエステル。

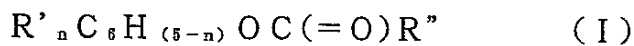
14. R''が炭素原子数4~22のアルキル基である請求項11から13のいずれか一項に記載のアルキルフェノールエステル。

15. nが1である請求項11から14のいずれか一項に記載のアルキルフェノールエステル。

16. R' が R" と一緒になって 20～40 個の炭素原子をもつ請求項 11 から 15 のいずれか一項に記載のアルキルフェノールエステル。

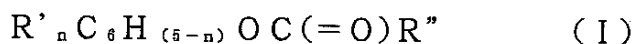
17. R' における炭素原子数が R" における炭素原子数以上である請求項 11 から 16 のいずれか一項に記載のアルキルフェノールエステル。

18. 合成潤滑油としての一般式



(式中、R' は炭素原子数 10～30 のアルキル基であり、n は 1～5 の整数であり、R" は炭素原子数 1～30 のアルキル基である) のアルキルフェノールエステルの使用。

19. 一般式



(式中、R' は炭素原子数 10～30 のアルキル基であり、n は 1～5 の整数であり、R" は炭素原子数 1～30 のアルキル基である) のアルキルフェノールエステルを基液として含む潤滑油組成物。

20. 基液全体の残余が鉱物又は合成起源の基油である請求項 19 に記載の潤滑油組成物。